



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
コード番号 4838 URL <https://www.spaceshower.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 吉人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,587	11.0	669	299.0	664	87.6	402	54.7
2023年3月期第3四半期	11,338	14.8	167	257.1	354	△28.3	259	△36.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 400百万円 (53.0%) 2023年3月期第3四半期 261百万円 (△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	47.98	—
2023年3月期第3四半期	31.15	—

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期第3四半期 -百万円 2023年3月期第3四半期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,604	4,026	52.9
2023年3月期	7,804	3,691	47.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,024百万円 2023年3月期 3,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,650	8.2	554	261.3	600	6.5	374	7.5	44.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,811,354株	2023年3月期	8,811,354株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	416,289株	2023年3月期	449,881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,383,868株	2023年3月期3Q	8,344,767株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する影響は収束しつつあり、緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化や急激な為替の変動、世界的なインフレの進行とそれを抑制するための金融引き締めによる世界経済の減速懸念などにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、各種サービスのデジタルシフトが急速に進み、定額サブスクリプションの音楽配信やライブ・イベント動画配信の普及・定着により、コンテンツのデジタル配信市場が堅調な成長を続けるとともに、デジタルプラットフォームの普及により、グローバルに向けたコンテンツ提供が容易となってきました。一方で、ライブ・イベント市場については、各制限を撤廃したライブ・イベントが多く開催され、動員についても回復傾向にあります。

このような社会・経済環境の急速な変化に対応すべく、2023年11月10日に、2024年4月1日を効力発生日とする当社と株式会社SKIYAKIとの経営統合を発表いたしました。当社の有するコンテンツ制作能力と、株式会社SKIYAKIの有するプラットフォームサービス及びシステム開発の技術力を組み合わせることで、テクノロジーの急速な発展によって加速度的な変化が予想されるエンタテインメント業界において、「コンテンツ」と「テクノロジー」を具有するあまり類を見ない企業体を形成し、新たなビジネスの地平を切り拓き、エンタテインメント業界の変化を先取りする企業体を目指してまいります。

当第3四半期連結会計期間における事業面でのトピックといたしましては、2023年9月30日、10月1日に長野県RISING FIELD KARUIZAWAにて、当社の主催ライブ・イベント「EPOCHS ～Music&Art Collective～」を、10月29日に群馬県Gメッセ群馬にて株式会社SANSとの共催によるライブ・イベント「GFEST. 2023」を初開催いたしました。それぞれ、2023年に町政100周年を迎えた長野県軽井沢町、「音楽のある街」をキャッチコピーに掲げる群馬県との協力により実現し、大変好評をいただくことができました。

また、ディストリビューション事業の取り組みとして、中国国内の「活発なZ世代コミュニティの間で最も人気のあるアプリ」として評価されている音楽プラットフォーム「NetEase Cloud Music」における、当社取り扱い楽曲の配信を開始いたしました。今後も中国のみならず、海外に向けた日本楽曲の発信に注力し、アーティストの成長、発展に寄与してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、コロナ禍で大きな影響を受けたライブ・イベントや店舗ビジネスが回復軌道に入ったことなどを受け、売上高は12,587,013千円と前年同期比1,248,191千円増（同11.0%増）、営業損益は営業利益669,531千円と前年同期比501,735千円増（同299.0%増）と、前年同期比で増収増益となりました。経常損益は経常利益664,562千円と前年同期比310,329千円増（同87.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純損益は親会社株主に帰属する四半期純利益402,245千円と前年同期比142,283千円増（同54.7%増）と、前年同期比で増収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①メディア セグメント

有料放送事業において、番組販売売上が減少したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。映像制作事業においても、ミュージックビデオの制作案件等の受注減少により、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,108,001千円と前年同期比558,485千円減（同15.2%減）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）187,176千円と前年同期比150,794千円減（同44.6%減）と、減収減益となりました。

②ライブ・コンテンツ セグメント

ライブハウス事業やエンターテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、コロナ禍からの回復が続いたことにより、前年同期比で増収増益となりました。また、イベント事業においては、当第3四半期連結会計期間に開催した新たなライブ・イベントの立ち上げに伴うコスト増があったものの、第1四半期連結会計期間に開催した国内最大規模のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」のチケット完売となる約3万人動員や、第2四半期連結会計期間に開催の「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2023」の全日程・全券種完売による約8万人動員の達成などにより、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は5,846,578千円と前年同期比1,419,910千円増（同32.1%増）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）536,521千円と前年同期比422,517千円増（同370.6%増）と、

増収増益となりました。

③ソリューション セグメント

ディストリビューション事業において、受託契約のあったヒットアーティストの移籍に伴い、当第3四半期連結会計期間は音楽配信売上が減少したものの、第2四半期連結累計期間の音楽配信売上の好調な推移や、ファンクラブ事業における有料会員数の増加とEC/MD事業における大型案件の獲得により、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は3,632,433千円と前年同期比386,766千円増（同11.9%増）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント損失（経常損失）55,794千円と前年同期比48,407千円増（前年同期はセグメント損失（経常損失）104,201千円）と、増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が173,830千円、その他流動資産が112,516千円、建物及び構築物が177,700千円、ソフトウェアが220,583千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が585,949千円、リース資産が81,750千円、ソフトウェア仮勘定が123,328千円、繰延税金資産が105,028千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ200,557千円減少し、7,604,073千円となりました。

負債は、主に未払法人税等が58,768千円、その他固定負債が186,900千円増加した一方で、買掛金が625,395千円、賞与引当金が165,494千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ534,982千円減少し、3,577,875千円となりました。

純資産は、譲渡制限付株式報酬付与のため自己株式を処分したことにより自己株式が13,637千円減少し、利益剰余金が318,631千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ334,425千円増加し、4,026,197千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、2023年11月10日付け「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」に記載の理由により、2023年5月12日に発表いたしました通期業績予想を据え置くことといたします。

なお、2024年1月26日付け開示の「本社移転」に伴う、2024年3月期の業績に与える影響は現在精査中です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,667,134	2,840,964
受取手形及び売掛金	2,257,598	1,671,648
商品	56,344	56,360
仕掛品	204,698	162,944
貯蔵品	9,486	8,539
その他	200,459	312,975
貸倒引当金	△48,929	△65,154
流動資産合計	5,346,792	4,988,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,215,115	1,392,815
機械装置及び運搬具	17,487	12,787
工具、器具及び備品	782,312	820,656
土地	52,640	52,640
リース資産	85,070	3,320
建設仮勘定	4,400	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,270,222	△1,263,499
有形固定資産合計	886,805	1,018,720
無形固定資産		
商標権	98,184	88,806
ソフトウェア	157,973	378,557
ソフトウェア仮勘定	167,381	44,052
その他	19,247	10,338
無形固定資産合計	442,786	521,755
投資その他の資産		
投資有価証券	227,746	223,060
敷金及び保証金	266,933	307,164
繰延税金資産	590,032	485,003
その他	44,049	62,183
貸倒引当金	△2,265	△2,918
投資その他の資産合計	1,126,496	1,074,494
固定資産合計	2,456,087	2,614,970
繰延資産	1,750	823
資産合計	7,804,630	7,604,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,820,748	1,195,352
リース債務	6,811	739
未払金	762,014	733,287
未払法人税等	31,797	90,565
預り金	222,606	233,446
賞与引当金	295,143	129,649
役員賞与引当金	22,946	26,621
その他	151,635	198,215
流動負債合計	3,313,703	2,607,878
固定負債		
リース債務	1,825	1,269
退職給付に係る負債	719,684	699,255
役員退職慰労引当金	19,583	24,510
その他	58,062	244,962
固定負債合計	799,154	969,997
負債合計	4,112,858	3,577,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,760,117	1,763,645
利益剰余金	1,956,482	2,275,113
自己株式	△182,641	△169,003
株主資本合計	3,633,959	3,969,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,813	54,748
その他の包括利益累計額合計	57,813	54,748
非支配株主持分	—	1,693
純資産合計	3,691,772	4,026,197
負債純資産合計	7,804,630	7,604,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,338,821	12,587,013
売上原価	9,454,479	10,212,098
売上総利益	1,884,342	2,374,914
販売費及び一般管理費	1,716,547	1,705,383
営業利益	167,795	669,531
営業外収益		
受取利息	42	11
受取配当金	572	1,131
持分法による投資利益	1,484	—
為替差益	9,079	9,678
受取賃貸料	1,305	1,377
業務受託手数料	372	—
助成金収入	157,445	340
雑収入	16,381	2,803
営業外収益合計	186,682	15,342
営業外費用		
支払利息	205	59
助成金返還損	—	17,471
雑損失	38	2,779
営業外費用合計	244	20,310
経常利益	354,232	664,562
特別利益		
固定資産売却益	86	1,193
投資有価証券売却益	97,602	—
その他	8,403	—
特別利益合計	106,092	1,193
特別損失		
固定資産売却損	—	447
固定資産除却損	181	10,229
減損損失	32,761	13,015
特別損失合計	32,943	23,692
税金等調整前四半期純利益	427,381	642,063
法人税、住民税及び事業税	29,084	131,473
法人税等調整額	143,055	106,650
法人税等合計	172,139	238,123
四半期純利益	255,241	403,939
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,720	1,693
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,962	402,245

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	255,241	403,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,730	△3,064
その他の包括利益合計	6,730	△3,064
四半期包括利益	261,972	400,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,692	399,181
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,720	1,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	メディア	ライブ・ コンテンツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	2,383,835	—	—	2,383,835	—	2,383,835
ライブ・コンテンツ 売上	—	4,426,667	—	4,426,667	—	4,426,667
ソリューション売上	—	—	3,245,667	3,245,667	—	3,245,667
映像制作売上	1,282,651	—	—	1,282,651	—	1,282,651
顧客との契約から生じ る収益	3,666,487	4,426,667	3,245,667	11,338,821	—	11,338,821
外部顧客への売上高	3,666,487	4,426,667	3,245,667	11,338,821	—	11,338,821
セグメント間の内部売 上高又は振替高	29,370	452,316	7,927	489,613	△489,613	—
計	3,695,857	4,878,983	3,253,594	11,828,435	△489,613	11,338,821
セグメント利益又は損失 (△)	337,970	114,004	△104,201	347,774	6,458	354,232

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等6,458千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、エージェント事業、アライアンス事業、エンターテイメントカフェ事業の売上、ソリューション売上には、ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディア	ライブ・ コンテンツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	2,109,173	—	—	2,109,173	—	2,109,173
ライブ・コンテンツ売 上	—	5,846,578	—	5,846,578	—	5,846,578
ソリューション売上	—	—	3,632,433	3,632,433	—	3,632,433
映像制作売上	998,827	—	—	998,827	—	998,827
顧客との契約から生じ る収益	3,108,001	5,846,578	3,632,433	12,587,013	—	12,587,013
外部顧客への売上高	3,108,001	5,846,578	3,632,433	12,587,013	—	12,587,013
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28,789	430,932	11,233	470,955	△470,955	—
計	3,136,791	6,277,510	3,643,666	13,057,968	△470,955	12,587,013
セグメント利益又は損失 (△)	187,176	536,521	△55,794	667,903	△3,340	664,562

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等△3,340千円であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、エージェント事業、アライアンス事業、エンターテイメントカフェ事業の売上、ソリューション売上には、ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。